

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会については毎年3月31日
そのほか必要があるときには、あらかじめ公告をする一定の日

配当受領株主確定日 毎年3月31日
中間配当の支払を行うときは9月30日

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・配当金計算書について
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

weds CO.,LTD.

株式会社ウェッズ

〒143-0016
東京都大田区大森北1-6-8
TEL 03-5753-8201

URL <https://www.weds.co.jp>



weds
株式会社ウェッズ

54th

第54期報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで



証券コードNo.7551

●トップメッセージ

経営理念

「ウェッズの永遠のテーマ、それはCHALLENGEです。私達は人と車の未来に向けて、常に新しく価値ある商品を創造し社会に貢献します。」

経営指針

「私達は、お客様最優先の営業方針と会社・株主・社員三位一体の取り組みにより、会社の繁栄と安定を追求して、株主利益の向上と社員のライフプラン充実に努めます。」



株主の皆様へ

平素は当社の事業運営に格別のご支援・ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて第54期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の当社グループの業績につきまして、その概要をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用環境の改善、個人消費の持ち直しや設備投資の増加など、景気は緩やかに回復しております。一方、世界経済につきましては、引き続き米国経済は好調に推移しているものの米中の貿易摩擦問題の長期化や英国のEU離脱問題等も存在しており先行き不透明な状況が依然続いております。このような環境のなか、当連結会計年度の売上高は、前第4四半期から子会社となった㈱ロジックスによる物流セグメントの追加等により32,533百万円（前期比13.0%増）と増収になりました。また、営業利益は売上と同様に㈱ロジックスによる増益効果があったものの、主力のアルミホイールにおける顧客の商流変更、高付加価値商品の低迷により1,699百万円（前期比2.5%減）と減益になりました。経常利益は1,866百万円（前期比0.6%増）となりま

した。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては赤字が続く福祉事業において固定資産の減損損失1,033百万円を計上したことにより、335百万円（前期比75.6%減）と大幅な減益となりました。

株主の皆様には、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長 稲妻 範彦

当連結会計年度の事業別業績

●自動車関連卸売事業

自動車関連卸売事業の売上高は、24,485百万円となり前期比60百万円（0.2%）の増収となりました。これは、主力のアルミホイールは減少したものの、用品等の売上が増加したことによります。一方、セグメント利益につきましては、アルミホイールにおける低価格志向による高付加価値ホイールの減少、顧客の商流変更による数量減、競争激化による売価停滞また運賃等の経費増加も影響し1,291百万円となり前期比316百万円（△19.7%）の減益となりました。

●物流事業

前第4四半期より連結子会社となった㈱ロジックスの営む物流事業の売上高は、6,089百万円となり、セグメント利益は358百万円と堅調に推移しました。

●自動車関連小売事業

自動車関連小売事業の売上高は、集客効果および通販業の売上増により、1,891百万円となり前期比87百万円（4.9%）の増収となりました。また、セグメント利益につきましても売上増加により、37百万円となり前期比2百

万円（8.2%）の増益となりました。

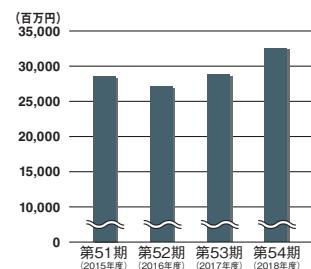
●福祉事業

福祉事業の売上高は、介護職員不足による受け入れ体制不足の影響により入居者が減少し、409百万円と前期比32百万円（△7.4%）の減収となりました。セグメント損失は、売上の減少により43百万円となり前期比17百万円の損失増加となりました。

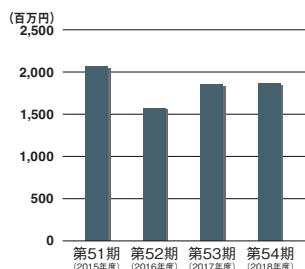
●その他事業

携帯電話代理店事業の売上高は、2018年4月より新規オープンした酒田みずほ店の効果により、1,164百万円となり前期比152百万円（15.0%）の増収、賃貸事業の売上高は、87百万円で前年とほぼ同額となり、合わせて1,251百万円となり前期比153百万円（14.0%）の増収となりました。セグメント利益は、携帯電話代理店事業は新規店による初期費用により、2百万円と前期比17百万円（△86.0%）の減益となりました。賃貸事業は52百万円で前年とほぼ同額となり、合わせて55百万円と前期比17百万円（△23.8%）の減益となりました。

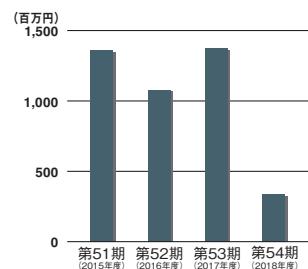
売上高



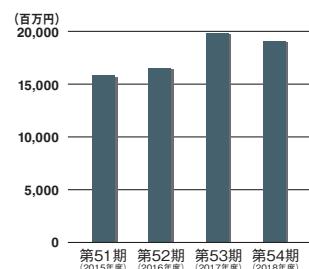
経常利益



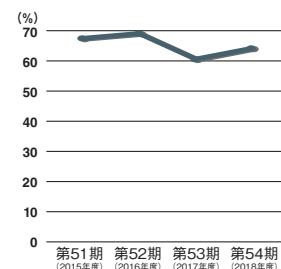
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産



自己資本比率



事業別売上高・セグメント利益

		(単位：百万円)						
		自動車関連卸売	物流	自動車関連小売	福祉	その他	消去	計
売上高	当期	24,485	6,089	1,891	409	1,251	△1,593	32,533
	前期	24,424	1,431	1,803	442	1,097	△419	28,780
セグメント利益	当期	1,291	358	37	△43	55	△0	1,699
	前期	1,608	52	35	△26	73	△0	1,742



連結貸借対照表 (単位：百万円)

科目	当期	前期
(資産の部)		
流動資産	11,341	10,962
現金及び預金	2,491	2,588
受取手形及び売掛金	4,191	4,272
たな卸資産	3,523	3,189
その他	1,137	912
貸倒引当金	△1	△1
固定資産	7,783	8,796
有形固定資産	6,006	6,892
建物及び構築物	1,956	2,997
土地	3,694	3,169
その他	351	374
建設仮勘定	4	350
無形固定資産	227	240
投資その他の資産	1,549	1,664
投資有価証券	374	492
繰延税金資産	400	265
その他	781	910
貸倒引当金	△7	△4
資産合計	19,125	19,759

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

科目	当期	前期
(負債の部)		
流動負債	4,514	5,437
支払手形及び買掛金	2,369	2,479
短期借入金	483	1,026
未払法人税等	495	480
為替予約負債	—	239
賞与引当金	216	200
役員賞与引当金	38	46
その他	909	963
固定負債	1,045	1,090
長期借入金	20	80
繰延税金負債	22	21
退職給付に係る負債	184	164
役員退職慰労引当金	210	185
資産除去債務	195	192
その他	413	446
負債合計	5,560	6,527
(純資産の部)		
株主資本	11,814	11,946
資本金	852	852
資本剰余金	759	745
利益剰余金	10,249	10,395
自己株式	△47	△47
その他の包括利益累計額	464	82
その他有価証券評価差額金	125	218
繰延ヘッジ損益	311	△165
為替換算調整勘定	27	29
非支配株主持分	1,286	1,202
純資産合計	13,565	13,231
負債・純資産合計	19,125	19,759

連結損益計算書 (単位：百万円)

科目	当期	前期
売上高	32,533	28,780
売上原価	26,171	22,253
売上総利益	6,361	6,526
販売費及び一般管理費	4,662	4,783
営業利益	1,699	1,742
営業外収益	183	119
営業外費用	16	7
経常利益	1,866	1,854
特別利益	—	398
特別損失	1,033	239
税金等調整前当期純利益	833	2,014
法人税、住民税及び事業税	670	607
法人税等調整額	△304	8
当期純利益	467	1,397
非支配株主に帰属する当期純利益	132	20
親会社株主に帰属する当期純利益	335	1,376

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 (単位：百万円)

当連結会計年度

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首 残高	852	745	10,395	△47	11,946	218	△165	29	82	1,202	13,231
当期変動額											
剰余金の配当			△481		△481						△481
連結子会社株式の取得による持分の増減		13			13						13
親会社株主に帰属する当期純利益			335		335						335
自己株式の取得				△0	△0						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△92	477	△2	382	83	466
当期変動額合計		13	△145	△0	△132	△92	477	△2	382	83	333
当期末 残高	852	759	10,249	△47	11,814	125	311	27	464	1,286	13,565

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。



■ 特別損失（減損損失）の計上について

今期連結決算において、当社グループが営む福祉事業にて、当社グループが保有する固定資産（土地、建物等）の帳簿価額を回収可能額まで減額し、1,033百万円を減損損失として特別損失を計上しました。

減損損失とは、企業が保有する固定資産の収益性が低下して投資回収可能額が帳簿上の価格を下回った場合、その下落分を損失として損益計算書に反映したものをいい、原則、特別損失として計上します。

この減損損失の対象となる資産は、土地や建物などの有形固定資産のほか、特許権などの知的財産権や企業買収などで発生するのれん代などの無形固定資産があります。

なお減損処理を行った資産については、減損損失を控除した帳簿価額に基づき減価償却を行うことになっており、今期は会計基準に基づき減損処理を行いますが、来期以降は減価償却費の負担が減少することになります。

また当該福祉事業においては、従来の運営方法を見直し、人員配置の適切化と外部の事業所の活用により安定した体制を確保することで、サービスの向上と施設の稼働率を上げて収益改善に取り組んで参ります。



会社概要

商号	株式会社ウェッズ WEDS CO.,LTD.
本社	東京都大田区大森北1-6-8
設立	1965年10月12日
資本金	8億5,275万円
従業員数	138名
業務内容	自動車用アルミホイール・スチール ホイールを中心とした自動車部品・ 用品の企画開発・販売

役員 (2019年6月26日総会後新役員)

取締役社長 (代表取締役)	稲妻 範彦
常務取締役	石田 純一
常務取締役	川端 久人
常務取締役	中尾 宏平
取締役	北爪 元哉
常勤監査役	谷田部 雄太
監査役	平松 幹人
監査役	朝原 満博

※取締役北爪元哉氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
※監査役平松幹人氏及び朝原満博氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式情報

■ 発行可能株式総数	53,340,000株
■ 発行済株式の総数	16,118,166株
■ 単元株式数	100株
■ 株主数	4,863名
■ 大株主	

株主名

	持株数(株)	持株比率(%)
中央精機株式会社	6,167,600	38.5
碧海信用金庫	520,000	3.2
石原勝成	480,000	3.0
株式会社三菱UFJ銀行	355,200	2.2
株式会社三井住友銀行	291,200	1.8
六和機械股份有限公司	256,000	1.6
平倉昭雄	147,000	0.9
伊澤秀	145,200	0.9
三井住友信託銀行株式会社	120,000	0.7
民享工業股份有限公司	100,000	0.6

■ 株価推移

